

東アジアの交易と琉球の中継貿易

14～16世紀を中心とした交易の模式 — 勘合貿易と中継貿易



日明貿易：勘合で確認



正式な貿易船の証明

日本 → 明：硫黄・刀剣・扇

明 → 日本：生糸・銅銭

琉球：各地を結ぶ中継点



日本・明・朝鮮・東南アジア

琉球から明へ：馬・硫黄など

品物を別の地域へ運ぶ

航路・品物は主な例。東南アジアの矢印は方面を示し、港の位置や距離を意味しない。